

2019年7月5日

各 位

会 社 名 株式会社フォーサイド
 代表者名 代表取締役 根津 孝規
 (JASDAQ・コード2330)
 問合せ先 常務取締役 飯田 潔
 電 話 03-6262-1056

連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年7月5日開催の取締役会において、2019年3月1日に公表した2019年12月期通期連結業績予想を下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2019年12月期通期連結業績予想数値の修正 (2019年1月1日～2019年12月31日)

	連 結 売 上 高	連 結 営 業 利 益	連 結 経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,171	10	4	10	0.32
今回修正予想 (B)	4,588	54	60	△52	△1.66
(B-A)	417	44	56	△62	
増減率	10.0	440.0	—	—	
(ご参考) 前期連結実績 (2018年12月期)	3,920	△210	△201	△591	△19.10

2. 修正の理由

連結売上高につきましては、プライズ事業における取扱商品の増加、並びに販路の拡大による新たな販売先が順調に増加したことにくわえ、投資銀行事業における案件成約が順調に推移したこと等により、前回発表予想を上回る見込みであります。また、連結売上高の増加に伴い、連結営業利益、連結経常利益につきましても、前回発表予想を大きく上回る見込みであります。

一方、当社グループは、2019年12月期第1四半期決算短信で繰延税金資産の取り崩しによる法人税等調整額245,825千円を計上しております。第1四半期時点においては、今回の修正理由であるプライズ事業並びに投資銀行事業の好調な見通しを勘案し、業績予想の修正はいたしませんでした。しかしながら、現時点において通期の見通しを改めて保守的に勘案した結果、連結売上高及び連結営業利益、連結経常利益の予想数値を修正するとともに、親会社株主に帰属する当期純利益を修正することいたしました。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後のさまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上